

県議会 2月定例会が開会

県民生活守る予算に



21日、2011年度予算案などを審議する県議会2月定例会が開会しました。3月16日までの日程です。予算案の概要と特徴的な事業をお伝えします。

新年度予算案の一般会計の予算規模は6007億1700万円で、10年度当初予算比0.1%の増となっています。

吉村美栄子知事は、提案説明の中で、当初予算の概要について、「県政運営の5本柱」として、「医療・福祉・子育て支援等の充実」、「地域産業の振興・活性化」、「農林水産業の再生」、



2011年2月27日
第114号

発行
日本共産党県議会議員
渡辺 ゆり子

<連絡先>
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3211(受付)
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

在宅酸素療法患者へ 電気料一部助成

社保協、県議団の運動実る

1月28日、県社会保障推進協議会の「社会保障の充実を求める要請」に同席し、懇談しました(写真)。

内容は、国民健康保険や県単独医療費助成制度に関する要望です。

このなかで、対応した県当局は、「当初予算の概算要求で『在宅酸素療法者支援事業』として、呼吸機能障がい者の酸素濃縮器使用に関わる電気料金の一部助成として500万円を計上した」と述べました。

県独自の電気料助成は社保協が以前から繰り返し要望し、共産党県議団も議会質問や県予算要望で何度も求めてきたものです。

「教育・人づくりの充実」、
「県土環境の保全創
造活用」をあげました。

くらし支える事業は

「医療・福祉・子育て支援等の充実」の内容として、市町村が行う子宮頸がん等ワクチン接種に対する県単独の助成を引き続き実施、2人以上の子ども、いわゆる多子世帯の保育料の負担軽減を図るための助成の年度途中でも低年

齢児が保育施設に円滑に入所できるよう受け入れ促進のための新たな助成などがあげられています。

「農林水産業の再生」では、農業産出額の増大を目指すし、好評のオーダーメイド型支援の助成規模を拡充するとしています。

「教育・人づくりの充実」では、少人数学級「さんさんプラン」の対象を中学校全学年に拡大、私立高校の一般補助金の補助率を45.5%から47%に引き上げる、県の授業料軽減補助については、生活保護世帯

いつせい地方選勝利へ決意

市田書記局長迎え演説会開催



県民会館で20日、市田忠義書記局長を迎えての演説会が開催されました。いつせい地方選・中間地方選の候補者が紹介され、笹山一夫県議団長と私・渡辺ゆり子も、4月の県議選に向けてのあいさつと決意表明を行いました。

みなさんの声を届けてがんばります

「5本柱」に加え、「県民協同・地域の支え合いの推進」として、「新しい公共」の拡大に向けた取り組みの促進を図るとしています。

また、「当面する最も重要な課題である景気・雇用対策」について、住宅産業の経済波及効果の高さに鑑み、県独自の景気・雇用対策として、住宅リフォーム

及び市町村住民税非課税世帯の補助単価を上乘せするなど盛り込まれています。

△への支援、新築住宅への支援、住宅関連産業・技術者への支援、を3本柱とした総合的な住宅対策を市町村と連携しながら実施するとしています。

その他の議案では、暴力団排除条例の制定など2011年度案件が44件、今年度補正予算案など2010年度案件が26件で、合わせて70件が提案されました。日本共産党県議団は、県民の皆さんから寄せられた声を代弁し、県民要求実現と県政のチェック機能の役割を果たすため、力を尽くします。

TPP交渉って何だ？



お茶の間懇談会でよく話題になるのが、TPP交渉の話です。

「山形の米や農産物をつくる人いなくなるべ」
「自分の国の食糧を外国に任せるとおかし」
農産物山形のは、それだけでも不安を口にします。

さらに、農業分野だけではなく、雇用や医療保険など国民生活の広い分野に影響が及ぶこと、アメリカの圧力があることなどの話が出る、目を丸くして「はー」とびっくりする人も。

地方議会では、TPP交渉参加に反対、あるいは慎重に、の意見書が7割を超えています。この問題は、内容が明らかになるにつれて、反対の声が大きくなることを実感しています。18日には、国民大運動実行委員会による街頭宣伝署名活動にも参加しました。食べもの(T)がパー(P)になるプラン(P)、とって(P)ピンチな(P)プラン(P)には、反対の声を上げていきましょう。